

作物名：いちご

病害虫名：ホコリダニ類

チャノホコリダニ（学名：*Polyphagotarsonemus latus* (Banks)）

シクラメンホコリダニ（学名：*Phytonemus pallidus* (Banks)）

1 被害の特徴

- チャノホコリダニ、シクラメンホコリダニが寄生する。
- 新葉が萎縮し褐変する。激発すると芯どまりや枯死が起こる。
- 果実は茶褐色になり肥大せず、瘦果（種子）が浮き出る。

2 生態

- 体長が0.2mm程度と非常に微小なため、肉眼では見えない。
- チャノホコリダニの場合、1世代に要する期間は20℃で2週間から3週間、27～28℃で約4～7日である。

3 発生しやすい条件

- 平均気温25℃を超える場合に発生が多くなる。
- ハダニ類の天敵製剤を利用している場合、殺虫剤による防除が少なくなり、発生することがある。
- ほ場内もしくはほ場周辺に雑草が多いと、そこが発生源となることがある。

4 防除方法

- 虫が小さく新芽内等に寄生しているため、薬剤は5～7日間隔で連続散布を行う。
- 薬剤散布後も健全な葉が展葉しなかった場合は、追加防除を行う。

5 出典

(1) 参考文献

- 農業総覧 原色病害虫診断防除編 2-②（農文協）

(2) 写真

- 宮城県病害虫防除所撮影



写真1 被害を受けた果実

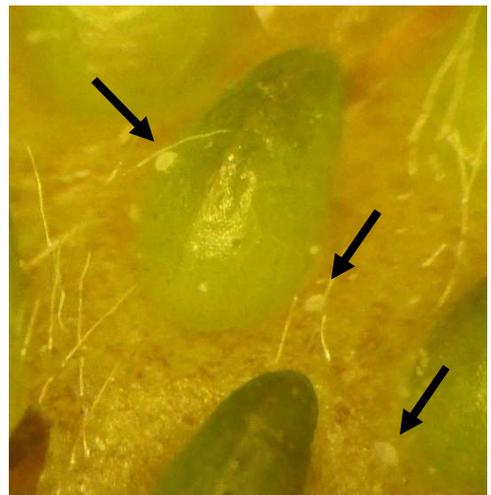


写真2 被害果実上のホコリダニ

（令和8年3月作成）